

【評価理由】

- ・内視鏡外科医としてのパイオニア。
- ・ISS/SIC（万国外科学会）での日本支部長としての活動（2015-2018）
- ・腹腔鏡による胃切除術は1991年（平成3年）に世界で初めて成功させた。
- ・消化器外科領域（特に内視鏡外科）においては技術・教育・研究ともに日本のみならず世界のリーダーとして長年活躍。
- ・多くの日本や世界の医学会においてリーダーの立場。
- ・第11回世界内視鏡外科学会（2008年）会長として学会を成功させた。
- ・IFSES（国際内視鏡外科連合）の会長（2012-2014）
- ・A-PSDE（アジア太平洋消化器内視鏡学会）の会長に就任し、約8,000名の医師を教育（2014-）
- ・Annals of Surgery（米国外科学会の公式機関紙。世界で最も頻繁に参照・引用されている外科学雑誌）の編集委員を務める（2005-2021）
- ・経歴に加えて、国際的にも紳士的に円滑にコミュニケーションが取れる立場。
総合的に；長年内視鏡外科医学の臨床・研究に取り組み、数々の顕著な業績を挙げ、日本国内のみならず、国際的にも消化器外科領域における内視鏡・内視鏡外科医学の充実・発展に寄与した功績が評価された。